

令和3年第2回定例会 一般会計予算・決算審査特別委員会（第3日目）  
経済建設分科会審査記録

- 1 日 時 令和3年6月21日（月） 午前11時04分
- 2 場 所 市役所 第一委員会室
- 3 議 題 議第56号 令和3年度村上市一般会計補正予算（第4号）
- 4 出席委員（8名）
- |    |        |     |        |
|----|--------|-----|--------|
| 1番 | 姫路 敏君  | 2番  | 山田 勉君  |
| 3番 | 大滝 国吉君 | 4番  | 菅井 晋一君 |
| 5番 | 尾形 修平君 | 6番  | 川村 敏晴君 |
| 7番 | 川崎 健二君 | 委員長 | 大滝 国吉君 |
|    | 副委員長   |     | 小杉 武仁君 |
- 5 欠席委員  
なし
- 6 傍聴議員（6名）
- |        |         |       |
|--------|---------|-------|
| 上村 正朗君 | 富樫 雅男君  | 高田 晃君 |
| 河村 幸雄君 | 稲葉 久美子君 | 渡辺 昌君 |
- 7 地方自治法第105条による出席者  
議長 三田 敏秋君
- 8 オブザーバーとして出席した者  
なし
- 9 説明のため出席した者
- |            |         |
|------------|---------|
| 副市長        | 忠 聡君    |
| 農林水産課長     | 稲垣 秀和君  |
| 同課農業振興室長   | 中川 博之君  |
| 同課農業振興室係長  | 菅井 学君   |
| 同課林業水産振興室長 | 伊藤 幸夫君  |
| 農業委員会事務局長  | 小川 良和君  |
| 地域経済振興課長   | 田中 章穂君  |
| 同課経済振興室長   | 成田 大介君  |
| 観光課長       | 永田 満君   |
| 同課観光交流室長   | 片岡 昌幸君  |
| 同課観光交流室係長  | 船山 ケイ子君 |
| 建設課長       | 伊与部 善久君 |
| 同課整備室長     | 須貝 民雄君  |
| 同課整備室副参事   | 伊藤 孝雄君  |
| 同課管理室長     | 本間 孝幸君  |
| 同課管理室係長    | 矢部 和貴君  |
| 同課日沿道対策室長  | 小池 一栄君  |
| 都市計画課長     | 大西 敏君   |
| 同課参事       | 小野 道康君  |
| 同課建築住宅室長   | 浅野 宏君   |
| 同課都市政策室長   | 風間 貴志君  |

上下水道課長	山田知行君
同課経営企画室長	長谷部 淳君
荒川支所産業建設課長	渡 邊 修君
神林支所産業建設課長	齋 藤 雄一君
朝日支所産業建設課長	加 藤 泰君
山北支所産業建設課長	小 田 和弘君

10 議会事務局職員

局 長	長谷部 俊 一
書 記	中 山 航

(午前11時04分)

特別委員長（大滝国吉君）開会を宣する。

○本特別委員会の審査については、本特別委員会に設置した経済建設分科会の所管事務について審査することとし、同分科会の審査については、分科会の会長には常任委員長が、副分科会長には常任副委員長が就任し、議事運営することとした。

分科会長（川崎健二君）経済建設分科会の開会を宣する。

○本日の審査は、議第56号のうち農林水産課、建設課所管分について審査する。

**日程第3** 議第56号 令和3年度村上市一般会計補正予算（第4号）のうち本分科会所管分を議題とし、担当課長（建設課長 伊与部善久君、農林水産課長 稲垣秀和君）から歳入の説明を受けた後、歳入についての質疑に入り、歳入についての質疑終了後、歳出についての説明を受けた後、歳出についての質疑に入る。

歳入

第16款 県支出金

（説 明）

建設 課長 それでは、建設課所管分のご説明をさせていただく。議件書の議第56号の7P、8Pを御覧いただきたいと思う。16款1項3目第1節の農業費県負担金である。説明欄を御覧いただきたいと思う。1、地籍調査事業費負担金で702万円を減額計上させていただいた。これは、今年度の地籍調査事業費負担金のうち、その一部が今年度から社会資本整備円滑化地籍整備事業補助金に移行されたことによって予算の組替えが必要となったために702万円の減額計上をさせていただいたものである。

農林水産課長 おはようございます。それでは、農林水産課所管分について説明させていただく。2項4目1節農業費補助金については、農林水産業総合振興事業費補助金1,730万円については、JAや法人などが整備するパイプハウス、農機具等に係る県補助金であって、令和3年度の第一次要望から第二次要望までの結果、見込額が3,730万円となって、当初予算の2,000万円を上回ることから増額補正するものだ。

建設 課長 次に、2項4目第1節の農業費補助金だ。説明欄を御覧いただきたいと思う。2、社会資本整備円滑化整備事業補助金で702万円を新たに計上させていただいた。これは、先ほどご説明をさせていただいたが、地籍調査事業費負担金のうち一部が今年

度より社会資本整備円滑化地籍整備事業補助金に移行されたことによる予算の組替えである。

#### 第21款 諸収入

(説明)

建設 課長 続いて、21款6項6目第7節の土木雑入だ。説明欄を御覧いただきたいと思う。1、コミュニティ助成自治総合センター交付金で950万円を新たに計上させていただいた。これは、みなとオアシス越後岩船における遊具の設置について、当コミュニティ助成事業に応募したところ、採択されたことから新たに歳入として計上させていただいたものである。以上である。

歳入

#### 第16款 県支出金、第21款 諸収入

(質疑)

姫路 敏 21款のところ、ちょっともう一回ゆっくり説明してください。コミュニティ助成自治総合センター交付金。

建設 課長 これみなとオアシスにおける遊具の設置なのだが、当コミュニティ助成事業に応募したところ、採択されたことから、新たに歳入を計上させていただいたものである。

姫路 敏 みなとオアシスの遊具というのはどんな遊具だかね。

建設 課長 みなとオアシスって岩船港の港湾緑地でステージあるところと、それから臨港道路を挟んで福田組の事務所あるけれども、あそこのところに3つの広場があるのだけれども、その中に設置する遊具というか、子どもたちが遊ぶ遊具だ。

姫路 敏 だから、遊具というのはどんな遊具だね。滑り台だかね、怪獣だかね、ブランコだかね、それを聞いているわけ。

整備 室長 遊具の種類になるが、ユニバーサルデザイン遊具ということで、デザインに配慮された複合遊具ということで、スロープだとか滑り台、そういったものが設置された遊具になる。

姫路 敏 950万円というのは相当な金額なので、遊具といえば滑り台だのなんだなんていえば、そこら辺のあるもののまず50万円なのだ、いっても50万円。その辺の町内の遊園であるジャングルジムだの、ああいうようなものの遊具と値段が桁が違うので、どんな大きいなのだかね、これ。

整備 室長 遊具なのだけれども、複合遊具ということで幾つかものを組み合わせた遊具で、大きさをいくと横幅で10メートルほど、縦幅で4メートル70ほどの、そういった形の遊具になる。

姫路 敏 あそこ港なので、さびとか、設置して三、四年たってきて、さびついてきて、誰もそんなの滑っていないなんていう話でならないようにしてもらいたいと思うのだけれども、そんな気がするのだ。あそこの市民会館の裏のところにあるような怪獣とか、あれもやっぱり使っているうちにさびたりなんだりという、塩害みたいなのところも出てきて、直したりもしたけれども、結構お金かかる。港のあそこというのは相当やっぱり塩の加減というか、その辺のところというのは対策というのはちゃんと取れているのか。

整備 室長 今回設置する遊具については、主要な構造材、いわゆる柱とか、そういったものについてはステンレスを使用して、それ以外の交換が可能なような部品についてはス

ーパースチールという耐食性、要は塩害に強い加工を施したものを使ったと、そういったものの組合せのものを設置する予定にしている。

姫路 敏 管理者は誰がするの、これ。それ取り付け後の管理者。これ管理して行って、瀬波地区にあるあのいかりのものもそうだ、ちゃんと中に入れているけれども、建物が塩に侵されて、よくよく本当に1週間に1回もう水かけてやったりしているのだ。そうやって維持している。あれそのままにしておくと腐ってしまう。だから、そういうところなのだ、やっぱり心配するのは。ちゃんとそういう人の管理者がいて、きれいにしてくれるなり、水かけるなり何かしてくれるのだからね。

整備 室長 今回の遊具の管理者については、市が管理者になる。そして、遊具使用に関して安全に使用していただくということもあるので、国のほうで定めている安全点検の指針のようなものを活用しながら、点検、そして維持管理に努めてまいりたいと考えている。

姫路 敏 市のほうでは、ではどんな管理をしようとしているのだ。例えばシルバー人材にお願いして何かするとか、漁協に委託して何かするとか。

整備 室長 管理については、まず当初は直営で行いたいというふうに考えている。ただ、このみなとオアシスのエリア内には県のほうで設置した遊具なんかもあるので、地元の団体の方の協力を得ながら、使用者側の目線で安全点検をしようということで企画をしているところである。

姫路 敏 遊具の場合は安全点検という、今言おうと思っていたことなのだけれども、非常にシビアなのだ。どこにでもある公園の遊具がひも垂らして使えない、安全点検中とか修理中とか、誰にその責任があるのだということになってくると、いや管理者は市だよとか言ってみたり、私の心配するのは、遊具でも何でも、遊具っておかしいなど、私はそれで今何度も聞いていたのだけれども、そういうのを設置したら、誰がどんな管理をするのかまできちんと決めないと、そのうちほら見ると、そんな最初だけだの、気合かかっているのと、こういう具合にならないように、どうだろうか、副市長、その辺。そういう施設が多いのだ。ほら見ると、建てるときばかり立派だけれども、誰も管理しないから、塩吹いてひどいぞと、岩船港のところ、滑り台の上塩だらけだわなんていうようなことにならないように、管理とかということをしつかりと運営できるような体制を整えてくれと。950万円なのだ、これ入ってきても。出すのは幾らなのか分からないけれども、これどうなるのかな、その辺。

副市長 せっかくいただいた交付金であるので、無駄のないように、そしてまたこれまでもご指摘いただいたように管理が不十分だというふうに言われぬように、しっかりと管理してまいりたいというふうに思う。よろしく願います。

姫路 敏 分かった。今言っても、管理体制もこれから練っていくのだろうしと思うので、こうならないようお願いしたいと、こういうふうに思う。以上だ。

歳出

第6款 農林水産業費

(説明)

農林水産課長 それでは、11P、12Pを御覧ください。6款1項3目農業振興費の農業振興経費の農林水産業総合振興事業費補助金1,730万円については、令和3年度事業の第一次要望から第二次要望までを取りまとめた結果、JAや法人などが整備いたすパイプハウス、トラクター、コンバイン等の農業用機械の導入に係る県費補助について、見

込額が3,730万円となって当初予算の2,000万円を上回ることから、増額補正するものである。

#### 第8款 土木費

(説明)

建設 課長

同じく11P、12Pを御覧いただきたいと思うが、8款2項2目道路維持費である。説明欄を御覧いただきたいと思う。1、道路対策事業経費で工事請負費200万円の増額計上をさせていただいた。これは、市道山添線において年度末に融雪による法面崩落があり、応急対策でブルーシートでの法面保護と水路の崩落土砂の撤去を行っているが、崩落防止のための本復旧が必要なため、その工事費を計上させていただいた。なお、本事業については緊急自然災害防止対策債の対象となるよう申請を行っているところである。次に、2、除雪対策経費で工事請負費530万円の増額計上をさせていただいた。これは、市道女学校線ほか消雪施設の制御盤設置箇所の土地所有者からの申出により、制御盤の移設のための工事費並びに山北地域岩崎地区消雪施設送水ポンプの故障に伴う取替え工事費を計上させていただいたものである。なお、山北地域の岩崎地区のポンプ故障の取替えについては、先ほど同様緊急自然災害防止対策債の対象となるよう申請をすることとしている。次に、13P、14Pを御覧いただきたいと思う。5項1目港湾管理費だ。説明欄を御覧いただきたいと思う。コミュニティ助成活用事業経費で、新たに工事請負費1,100万円を計上させていただいた。これは先ほど説明したが、みなとオアシス越後岩船のエリア内のわいわい広場に設置予定の遊具の工事費を計上させていただいたものである。なお、コミュニティ助成自治総合センター交付金950万円のほか、交付金に含まれない、対象とならない広場入り口となる箇所のポラード等の移設に係る附帯工事費150万円を合わせて計上させていただいたものである。以上である。

歳出

#### 第6款 農林水産業費、第8款 土木費

(質疑)

(「なし」と呼ぶ者あり)

(自由討議)

(「なし」と呼ぶ者あり)

(賛否態度の発言)

(「なし」と呼ぶ者あり)

以上で質疑を終結し、自由討議を求めたが自由討議なく、賛否についての発言を求めたが発言なく、起立による賛否態度の取りまとめを行った結果、議第56号のうち経済建設分科会所管分については、起立全員にて原案のとおり可決すべきものと態度を決定した。

分科会長(川崎健二君)閉会を宣する。

(午前11時25分)